

分野	専門基礎分野 —健康支援と保障制度—	対象学年	3
		時期	後期
授業科目	保健医療概論 Introduction to Health Care and Medicine	単位	1
		時間	15
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	保健医療福祉を取り巻く基本概念や関係制度・関係法規を理解することは、看護者にとって不可欠なことである。また、関係する職種の役割を知る上でも重要である。保健医療福祉についての関係法規の概略を理解することを目的とする。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療が直面している今日的及び将来的な諸問題を理解する。 2. 我が国の医療制度（医療提供体制）を理解する。 3. 医療保険制度を理解する。 4. 衛生法規について理解する。 5. 医事法規について理解する。 		
評価方法	終講試験 レポート内容 課題：「保健医療制度」について学生便覧のレポート作成要項に基づいて作成する（オリジナルなもの）		
使用テキスト	新体系看護学全書 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 現代医療論 メジカルフレンド社		
参考図書			
メッセージ	教科書と厚生労働省の統計資料を使い、医療が直面している諸問題を理解していきましょう。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	保健医療概論	保健医療概論について学ぶ	保健医療概論について	講義	
2	国民衛生の動向	国民衛生の動向から衛生の指標を学ぶ	国民衛生の動向から衛生の指標の理解 わが国の人口静態、人口動態、平均余命	講義	
3	医療提供体制	我が国の医療提供体制を学ぶ	我が国の医療提供体制 <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療計画推進の経過 2) 医療施設の動向 3) 医療サービスの推進・確保 4) 医療法 5) 医療法改正の流れ 	講義	
4	医療保険制度	医療保険制度を学ぶ	医療保険制度 変遷、概要、他国との比較	講義	
5	医療関係法規	衛生法について学ぶ	医療関係法規 <ol style="list-style-type: none"> 1) 法の概念と分類 2) 衛生法 	講義	
6	医療関係法規	医事法について学ぶ	<ol style="list-style-type: none"> 3) 医事法 	講義	
7	関係法令	関係法令を復習する	関係法令のまとめ（社会保障制度等）	講義	
8		終講試験	終講試験		

分野	専門基礎分野 —健康支援と保障制度—	対象学年	3
		時期	後期
授業科目	生命倫理 Bioethics	単位	1
		時間	15
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	<p>生命は平等であり、尊厳されなければならない。生命倫理（バイオエシックス）は命に関する倫理であって看護の倫理の観点からしても、必要な考えです。医療（看護）の現場では、医学的側面（臓器移植など）でも、社会的側面（インフォームド・コンセント）でも急速に変わりつつあります。医療ミスの頻発もあり医療従事者には、ますます高度な専門性と職業上の責任が求められています。それは人々の医療（看護）に対する期待がそれだけ高いことを示しています。生命倫理をめぐる法的規制の動向を中心に紹介し、倫理の重要性を学ぶ場として下さい。また看護職が様々な場面で問われる自律的判断の土台となり、倫理に基づいた行動ができるための（職業倫理）よりどころとなり、また自らの看護に対する考え方を深める内容です。</p>		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医学の進歩と倫理観の変遷・調和について理解する。 2. 医療専門職の社会的責任について理解する。 3. 生命の尊厳について考え、看護者としての倫理観を考える。 		
評価方法	終講試験（80点）レポート（20点） グループワーク参加態度と出席状況にて減点		
使用テキスト	新体系看護学全書 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 現代医療論 メジカルフレンド社		
参考図書			
メッセージ	<p>生命倫理は医学（看護）や生命科学に関する倫理的・社会的・哲学的・法的問題及びその関連問題を研究する学問であると国際生命倫理会が定義しています。科学技術の目覚ましい発展は、人間の生命に対する大幅な人為的介入を可能にし、人類は望むことの許されなかった選択肢を手中に収めることができるようになりました。しかし同時に生命に対する人為的介入はどこまで許されるのかといったこれまで問われることのなかった新しい問題に直面することとなりました。生命倫理は様々な知識の統合をしていく学問です。また人間を深く学び、人間の生き方を問い続ける学問です。また、看護職の弱いところは法律の理解とも言われています。自己決定権を尊重し、説明責任を果たすことのできる看護師を目指して一緒に学んでいきましょう。</p>		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	生命倫理概論	生命倫理概論を学ぶ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療に関する誓約、規範 <ol style="list-style-type: none"> ①ピポクラテスの誓い ②ナイチンゲール誓詞 ③ジュネーブ宣言(1948) ④ヘルシンキ宣言(1964) ⑤患者の権利章典(1973) ⑥リスボン宣言(1981) ⑦日本看護協会 看護者の倫理綱領(2003) ⑧ICN 看護師の倫理綱領(2005) 2. 現代医療における倫理 <ol style="list-style-type: none"> ①倫理とは何か 道徳とは 倫理とは 職業倫理とは ②医療倫理 ③看護倫理 看護者の倫理綱領 	講義	看護学概論 I・IIで既習の内容だが、必修内容のため時代の経過とともに整理して確認する

2	生命倫理原則	生命倫理の4原則について理解する	<p>1.生命倫理4原則</p> <p>①自律尊重原則</p> <p>②無危害原則</p> <p>③善行原則</p> <p>④正義</p> <p>2.倫理問題の整理</p> <p>4分割法による分析方法</p> <p>①医学的適応</p> <p>②患者の意向</p> <p>③QOL</p> <p>④周囲の状況</p> <p>事例を用いて説明</p>	講義	
3	生殖医療と倫理	生殖医療と倫理について考えを深める	<p>1.先端医療と倫理問題</p> <p>①遺伝子解析・遺伝子医療と倫理</p> <p>②出生前診断と倫理</p>	講義	
4	医の倫理	医の倫理について考えを深める	<p>1.現代医療の本質</p> <p>①現代医療の状況と問題</p> <p>2.医療における医師—患者の関係</p> <p>①医師の職業威信と国民の信頼感</p> <p>②医療における医師の義務</p> <p>③インフォームドコンセント</p> <p>3.医の倫理</p>	講義 レポート	医師である学校長が講義を行う
5	看護の倫理・臨床場面における倫理的問題と分析	<p>1.看護の倫理について考えを深める</p> <p>2.臨床場面における倫理的問題について考えを深める</p>	<p>1.倫理的感受性</p> <p>2.臨床場面における倫理的問題</p> <p>3.日常おこる様々な問題と整理</p>	講義 GW	身近な現象を例に説明する事例を提示してGW
6	看護者の役割	倫理的問題と看護者の役割	<p>1.対象の理解</p> <p>意思・意向のアセスメント</p> <p>2.問題の理解、状況分析</p> <p>3.関わりの方向性</p> <p>4.看護者の役割</p>	講義 DVD GW レポート	DVDを活用して、実際にあるような複雑な事例から考える
7					
8			終講試験		

分野	専門基礎分野 —健康支援と保障制度—	対象学年	3
		時期	後期
授業科目	地域保健学 Community Health	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	人々は地域の中で生活している。看護者が生活している「生活者」としての対象の理解のためには、地域を見る視点が必要である。また、様々な職種や立場の人々が地域の生活のために関わっている。その仕組みやそれぞれの職種や立場の役割と機能について学び、退院後対象が戻っていく地域と対象の健康についての理解を深める。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域保健の必要性が考えられる。 2. 生活と健康問題の関連が理解できる。 3. 保健統計の意義が理解できる。 4. 衛生行政・関係法規と保健活動が理解できる。 5. 保健所・保健センターの役割と、そこで働く保健師の活動が理解できる。 		
評価方法	終講試験 グループワーク参加状況		
使用テキスト	わかりやすい公衆衛生学 ヌーベル・ヒロカワ		
参考図書			
メッセージ	地域では、私たちの健康はどのように守られているのでしょうか。病院を離れて、地域から健康を考えてみましょう。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	地域の視点と看護	公衆衛生とは何かを学ぶ	公衆衛生とは 1) 地域の視点と地域看護活動 2) 公衆衛生とは 3) プライマリーヘルスケア 4) ヘルスプロモーション	講義	
2	保健統計 母子保健	1.人口の動向と健康問題を考える 2.母子保健を学ぶ	1.人口の動向と健康問題 1) 保健統計の意義 2) 日本の保健統計 2.母子保健	講義	
3	高齢者保健福祉	高齢者保健を学ぶ	高齢者保健福祉	講義	
4	成人保健	成人保健を学ぶ	成人保健	講義	
5	障害者保健福祉	障害者保健を学ぶ	障害者保健福祉・難病	講義	
6	学校保健 産業保健	1.学校保健を学ぶ 2.産業保健を学ぶ	1.学校保健 2.産業保健	講義	
7	食品安全 感染症	1.食品保健と栄養を学ぶ 2. 感染症の動向を学ぶ	食品保健と栄養 感染症の動向	講義	
8	環境保健	環境保健について学ぶ	環境保健	講義	
9	保健所と保健センター業務	保健所と保健センターで働く保健師の活動を学ぶ	保健所、保健センターについて	講義	
10	地域保健のまとめ	地域保健について理解を深める	地域保健のまとめ	講義	

専門基礎分野

11	地域包括支援センターで働く保健師の活動	地域包括支援センターで働く保健師の活動を学ぶ	地域での保健師活動 1) 地域包括支援センターの概要 2) 介護ケア予防事業	講義	
12	予防医学センターで働く保健師の活動	予防医学センターで働く保健師の活動を学ぶ	3) 予防医学センターの概要 4) 特定保健指導とは 5) 特定保健指導の現状 6) 予防医学センターでの保健師の活動の実際 —健康な人を対象とした看護活動—	講義	
13	社会保障制度	社会保障制度を学ぶ	1. 公衆衛生学 2. 関係法規 3. 地域包括ケアシステム	講義	
14			4. 社会福祉 5. 地域保健に関する関係法規	講義	
15			終講試験		